

「ちゃんと本人が書いてますよー!」

閑話休題

このブログは、Face bookとファックス通信で、ほぼ毎週お届けしています。今もあるのかわかりませんが、昔、糸井重里氏による「ほぼ日刊イトイ新聞」というものがあつたように記憶しますが、このブログは言うならば、「ほぼ週刊アナミ新聞」とでも言ったところでしょうか。しかし、このブログが、実はゴーストライターが書いてあるんじゃないかという噂があるというか、普通にそうだろうと思うている読者が、結構な確率でいらっしやるというのを、各方面から聞くものですから、ちゃんとここでそろそろ弁明をしておいた方がいいのかなと思いました。

が好きで、小学生の頃には私があまり家で本ばかり読んでるので、母が外に遊びに行くよう私を家から追い出すと、公園で本を読んでいたと母がいます。私自身はあまり憶えていませんが、わりと本を読むのは好きで、大学受験の時も国語の成績が良く、東京の大手予備校の全国模試でも全国4位だったこともありました。大学に入っても文章を書きたくて、アナウンサー研究会というサークルで、ラジオドラマやDJ番組の原稿を書いてました。また、小説家を目指す学友宅で読書と文学論を交わす毎日を送っていました。

ら発刊して、巻頭メッセージを今も10年以上毎月書き続けています。その社内報も経団連の社内報表彰で、応募した年は毎年優秀表彰を受賞していました。

生記も含め、ずっと適切なライターを探すのは苦労しました。私自身が文章に対するこだわりが強いせいもあったと思います。

10年前のジョイフル創業30周年の時に、父の半生記を企画出版をして、執筆はしていませんが、本を作る経験が積み、今年、自分で執筆した書籍を企画出版させて頂きました。ちょっとしつこくなりましたが、私はこんな風にも本や書く事に親しんできました。連載の依頼を頂いた事もありましたが、本業多忙を理由に御断りしてきました。文章を書く事そのものが仕事になる訳ですから、私も仕事のない仕事も多いものではないので、私が書ける人を雇いたいのですが、なかなかいません。会社の広報や広告、社内向けの様々な文書や父の半

政治分野では東京の政策秘書は、かつて有力政治家のある政策分野についての回想録の執筆を手伝った経験があります。私の事務所では私自身が書くので、最初は書き仕事が無いとボヤいていたようです。最近は私も論点整理などの作業については任せられるようにしています。かつては全て私が書いていたので、官僚が秘書に驚きを漏らすこともあつたようです。これからも私自身の書下ろしですのでもよろしくお願います。

私がこういう文章を書けるイメージが無いようですが、実は学生時代からよく書いてきました。幼い頃から本

紹介ブログリーフレットを発行していましたが、その企画も原稿もすべて私が書いてましたし、社内報もその当時から

子会社社長時代も、中国ジョイフル管内の各店舗各テーブルに常備していた商品

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebookアドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください!お待ちしております。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

